

News Release from NORD 2014.6.27

語学ボランティアに「ぜひ参加したい」という人は22% 海外の人々に伝えたい東京・日本の良さは「和食の魅力」がトップ

ノルド社会環境研究所(本社:東京都中央区、代表取締役:久米谷弘光)は、2020年東京五輪及びその開催に伴い東京都が数万人規模での育成を検討している語学ボランティアについて、Webアンケート調査を実施しました。対象は1都3県に在住の一般生活者で6月5日～9日にかけて実施。475人から回答を得ました。その結果、語学ボランティアに「ぜひ参加したい」という人は22%です。中でも「出会った人に道案内などをする」、「競技場や五輪施設で案内する」といった種類のボランティアへの参加意向が高くなっています。また、語学ボランティアに参加するための研修として人気が高いのは「1週間程度の簡単な初級語学研修」や「五輪会場や東京都の観光地を視察する研修」です。海外の人々に伝えたい東京や日本の良さとしては「和食の魅力」がトップ、次いで「安心・安全」「独特な伝統文化」となっています。主な調査結果は以下の通りです。

「国立競技場の建て替え」、「選手村の晴海への設置」、「コンパクトな会場配置」については半数以上が認知。

- 東京五輪に関することからの認知では、「国立競技場の建て替え」、「選手村の晴海への設置」、「コンパクトな会場配置」については半数以上の人々が認知している。一方、東京以外で開催されるサッカー予選や被災地での聖火リレー、葛西臨海公園のカヌー競技場での環境問題、スローガン(「Discover Tomorrow～未来(あした)をつかもう～」)の認知はまだ低い。

海外の人々に伝えたい東京や日本の良さは「和食の魅力」がトップ

- 海外の人々に伝えたい東京や日本の良さは、「和食の魅力」(64%)が最も高い。
- 次いで、「安心・安全」(61%)、「独特の伝統文化を持っている」(59%)が東京や日本の良さとして認識されている。

語学ボランティアとして「ぜひ参加したい」という人は22%

- “現在の語学レベルは問わず、必要な研修が無料で受けられる”という前提条件のもと、「ぜひ参加したい」人は22%。
- 年代別にみると、20代の参加意向が最も高く、50代では「ぜひ参加したい」という人が11%と最も低い。
- 「まったく参加したくない」(35%)と答えた人の理由は、「語学が苦手」、「時間が無い」が多い。
- 「出会った人に道案内などをするボランティア」、「競技場や五輪施設で案内するボランティア」への参加意向が高い。

参加してみたい語学ボランティア研修は「1週間程度の初級語学研修」が最も高い

- 語学ボランティアに参加するための研修として最も人気があるのは「1週間程度の簡単な初級語学研修」。次いで「五輪会場や東京の観光地を視察する研修」、「日本の文化や歴史について学ぶ研修」の人气が高い。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ノルド社会環境研究所 自主調査係

東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル Tel:03-5542-1061 / Fax:03-5542-1062

E-mail: master@nord-ise.com ホームページ: <http://www.nord-ise.com/>

2020年東京五輪に関する認知度

News Release from NORD 2014.6.27

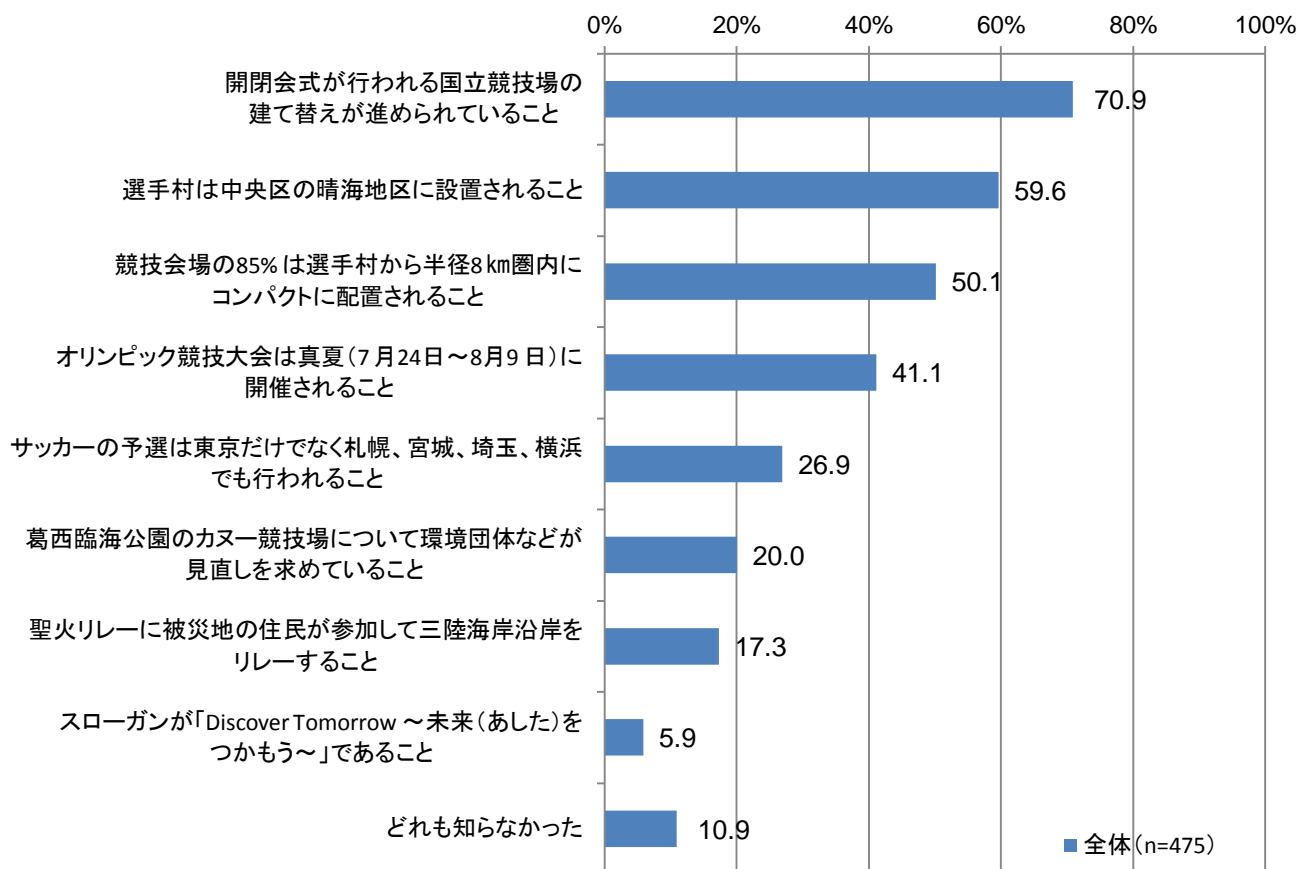
■「国立競技場の建て替え」についての認知が最も高く、7割の人が認知している。

2020年東京五輪について、「開閉会式が行われる国立競技場の建て替えが進められていること」(71%)の認知が最も高く、次いで「選手村は中央区の晴海地区に設置されること」(60%)、「競技会場の85%は選手村から半径8km圏内にコンパクトに配置されること」(50%)が続き、半数以上の人々が認知している。

しかし、東京以外で開催されるサッカー予選や被災地での聖火リレー、葛西臨海公園のカヌー競技場の環境影響問題、スローガン(「Discover Tomorrow～未来(あした)をつかもう～」)の認知はまだ低い。【グラフ1】

【グラフ1】東京五輪に関する認知状況[全体:N=475]

問：2020年に開催される東京五輪について、あなたは次のようなことを知っていましたか。



訪日外国人との交流意向

News Release from NORD 2014.6.27

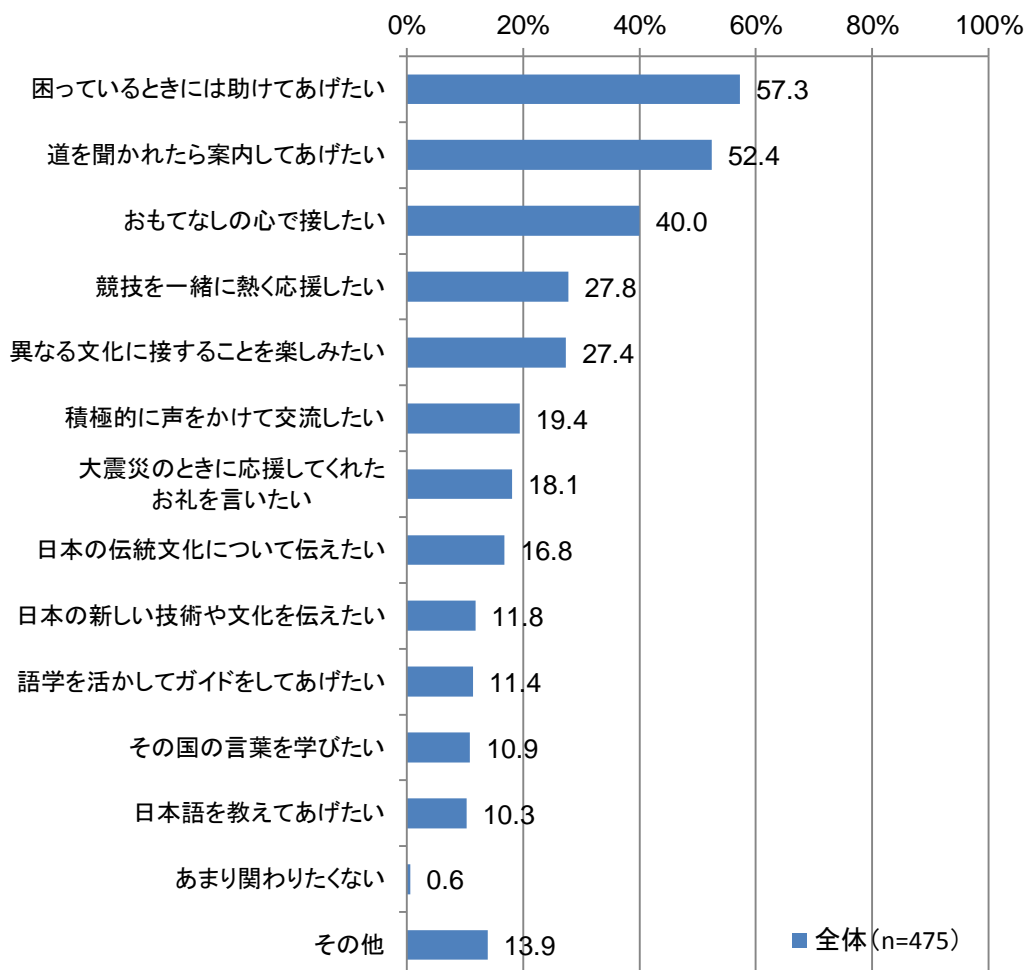
■「困っているときは助けてあげたい」などの「おもてなし」の意識はあるが…。

2020年東京五輪に向けて、訪日外国人の増加が予測されている。こうした訪日外国人との交流意向を聞いてみると、「困っているときには助けてあげたい」という人が57%と最も高く、次いで「道を聞かれたら案内してあげたい」という人が52%で、半数以上となっている。この結果から、「おもてなし」のベースとなる思いやりの意識は高いと言える。一方、「異なる文化に接することを楽しみたい」や「日本の伝統文化について伝えたい」、「日本語を教えたい」の意向は低い。【グラフ2】

訪日外国人への「おもてなし」を実現するためには、思いやりだけでなく、語学とともに自国と外国の文化理解を含めた異文化コミュニケーション能力の向上が必要と思われる。

【グラフ2】訪日外国人との交流意向[全体:N=475]

問：2020年東京五輪を契機に訪れる海外の人々との交流について、どのようにおもいますか。



訪日外国人に伝えたい東京や日本の良さ

News Release from NORD 2014.6.27

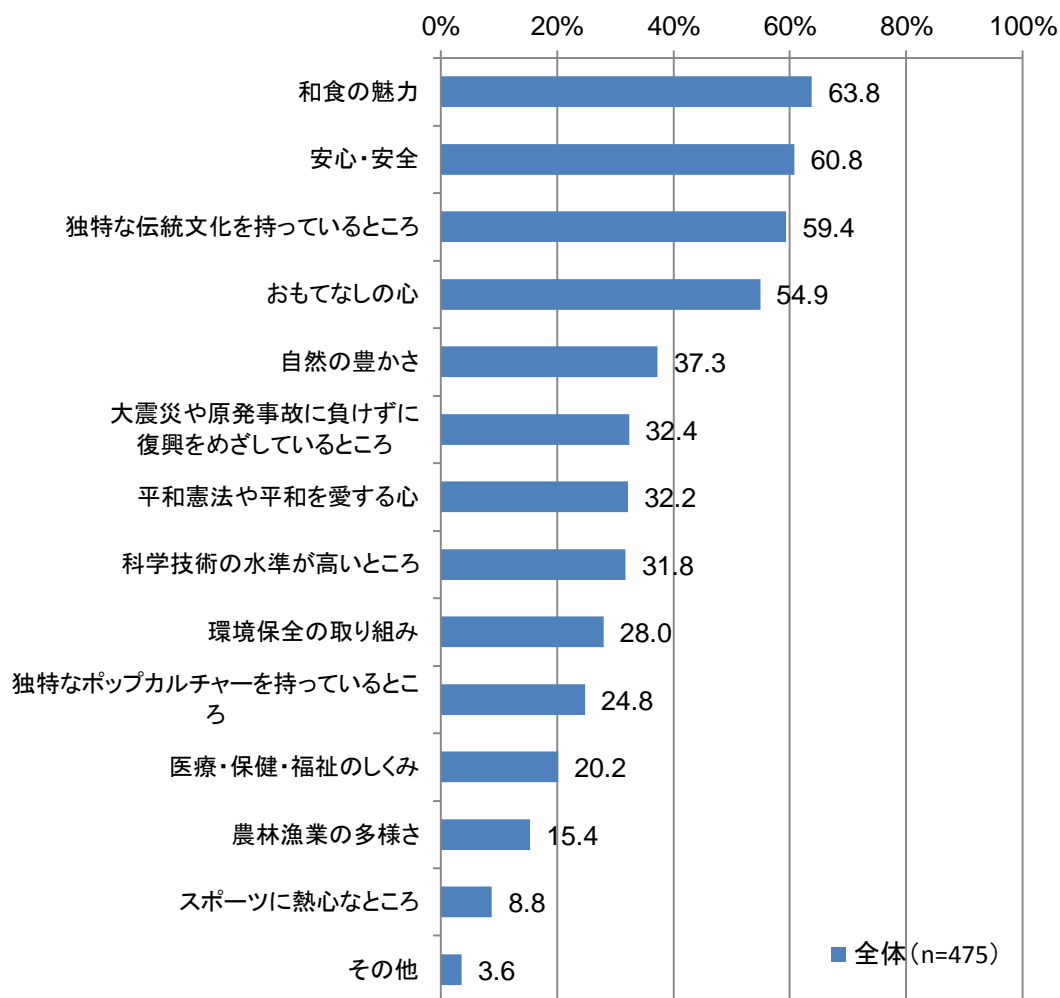
■ 訪日外国人に伝えたい東京や日本の良さは「和食の魅力」がトップ。

海外の人々に伝えたい東京や日本の良さを聞いてみると、「和食の魅力」が64%と最も高い。次いで、「安心・安全」61%や「独特の伝統文化を持っているところ」59%、「おもてなしの心」55%が高く、半数を上回っている。

【グラフ3】

【グラフ3】訪日外国人に伝えたい東京や日本の良さ[全体:N=475]

問：2020年東京五輪開催を機会に、海外の人々に伝えたい東京や日本の良さは何ですか。



外国語の語学レベル

News Release from NORD 2014.6.27

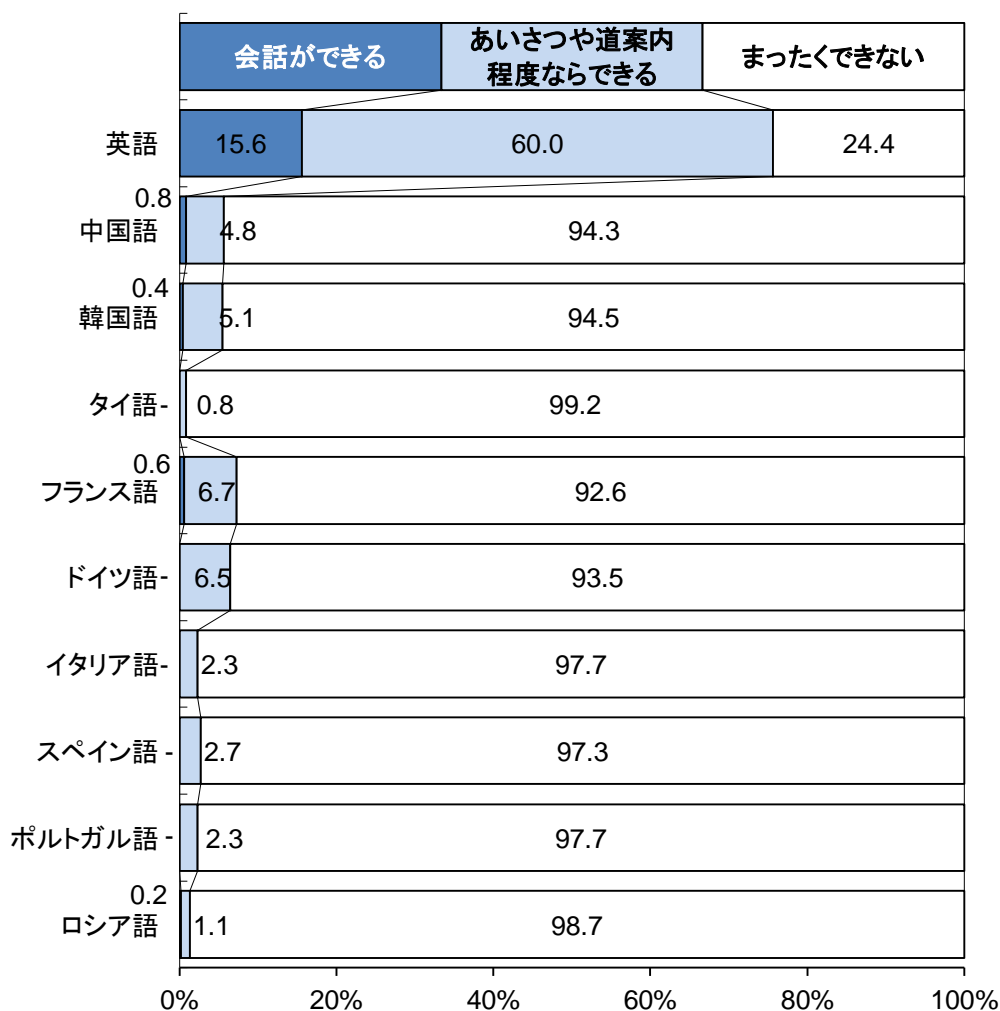
■ 英語であれば、7割以上の人が「会話ができる」、「あいさつ・道案内程度なら できる」と回答。しかし、他の言語は「まったくできない」が9割以上。

現在の語学レベルを聞いてみると、英語では「会話ができる」という人が16%、「あいさつや道案内程度なら
できる」という人が60%で、合わせて76%の人がコミュニケーションをとることができる。しかし、英語以外のすべ
ての言語では、「まったくできない」という人が90%以上である。【グラフ4】

現在、アジアからの訪日外国人が最も多い。2020年に向けて訪日外国人は増加するとともに、五輪期間には
様々な国からの観戦者が訪れることが予想される。今後は英語以外の言語でのコミュニケーション力や他国の
文化・マナーを理解することも重要となる。

【グラフ4】外国語の語学力[全体:N=475]

問：あなたの次にあげる外国語のレベルはどのくらいですか。それぞれの
言語についてあてはまるものをひとつ選んでください。



語学ボランティアへの参加意向

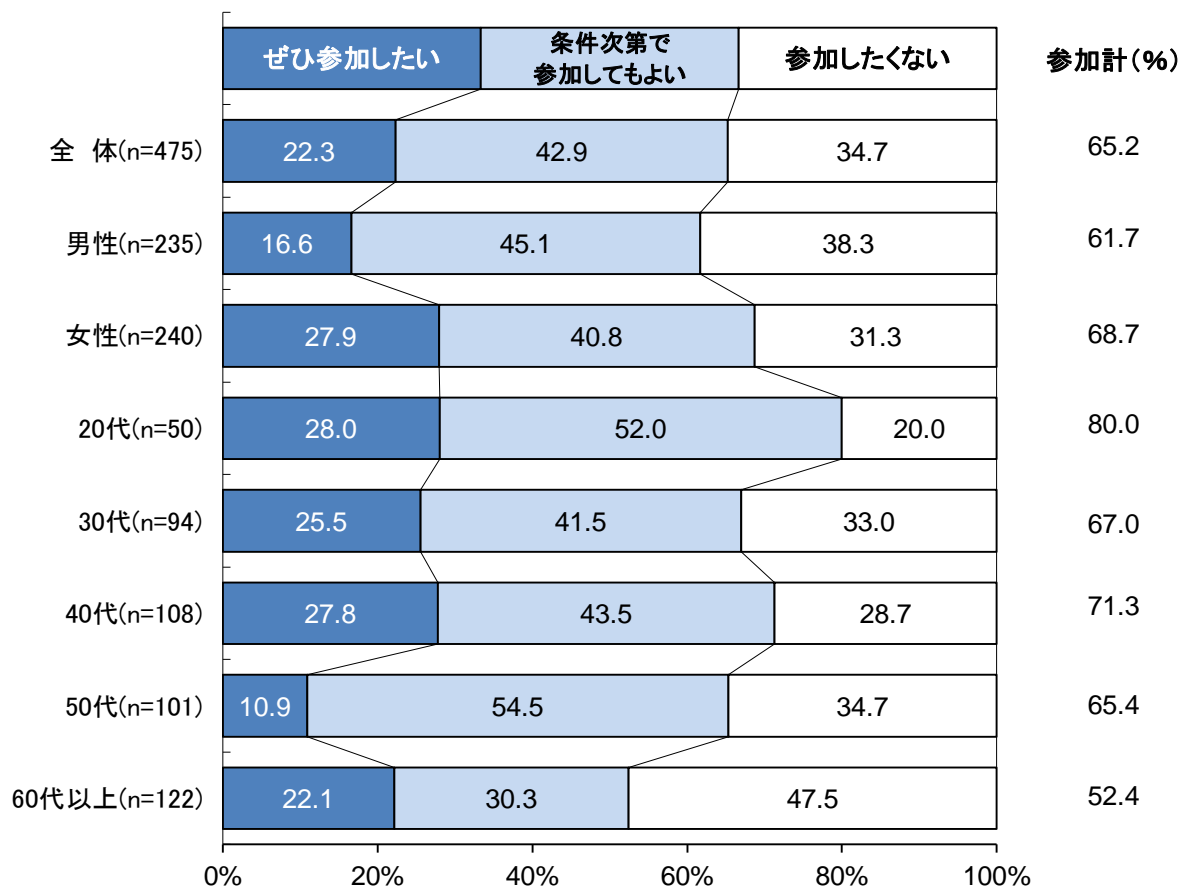
News Release from NORD 2014.6.27

■条件はあるが、22%が語学ボランティアへ「ぜひ参加したい」と回答。

“現在の語学レベルは問わず、必要な研修が無料で受けられる”という条件のもと、語学ボランティアへの参加意向を聞いてみると、「ぜひ参加したい」という人が22%、「条件次第で参加してもよい」という人が43%で、合わせて65%が参加意向を示している。性別で見ると、男性に比べ女性において「ぜひ参加したい」という人が多い。また、年代別にみると、「ぜひ参加したい」という人の割合は20代で最も高く28%、50代で最も低く11%である。【グラフ5】

【グラフ5】語学ボランティアへの参加意向[全体:N=475]

問：2020年東京五輪に向けて東京都などが訪日外国人を迎えるための語学ボランティアの育成を計画しています。現在の語学レベルは問わず、必要な研修が無料で受けられるとして、あなたは、語学ボランティアとして参加してみたいと思いますか。



種類別にみた語学ボランティアへの参加意向

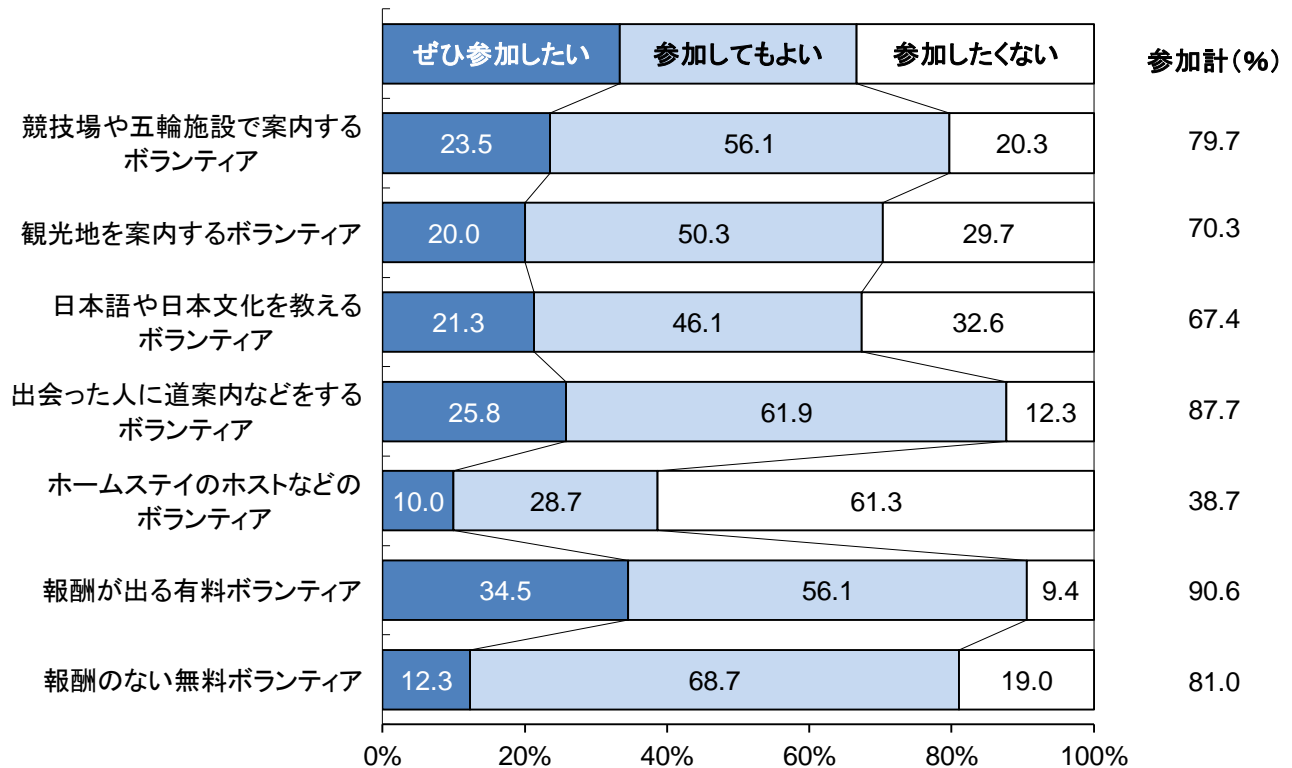
News Release from NORD 2014.6.27

■ 最も参加意向の高いボランティアの種類は「出会った人に道案内などをする」。

語学ボランティア参加意向者（「参加」と回答）に対し、ボランティアの種類ごとに参加意向を聞いてみると、ぜひ参加したい人の割合は「出会った人に道案内などをする」が26%と最も高く、次いで「競技場や五輪施設で案内する」が24%と続いている。また、報酬が出る有料ボランティアでは、「ぜひ参加したい」という人が35%、「参加してもよい」という人が56%で、合わせて91%が「参加」と回答している。報酬のない無料ボランティアであっても、「ぜひ参加したい」という人が12%いる。【グラフ6】

【グラフ6】種類別にみた語学ボランティアへの参加意向[語学ボランティア参加意向者：N=310]

問：2020年東京五輪に向けて東京都が次のような語学ボランティアを求めているら、あなたはどの程度参加してみたいと思いますか。



語学ボランティア研修への参加意向

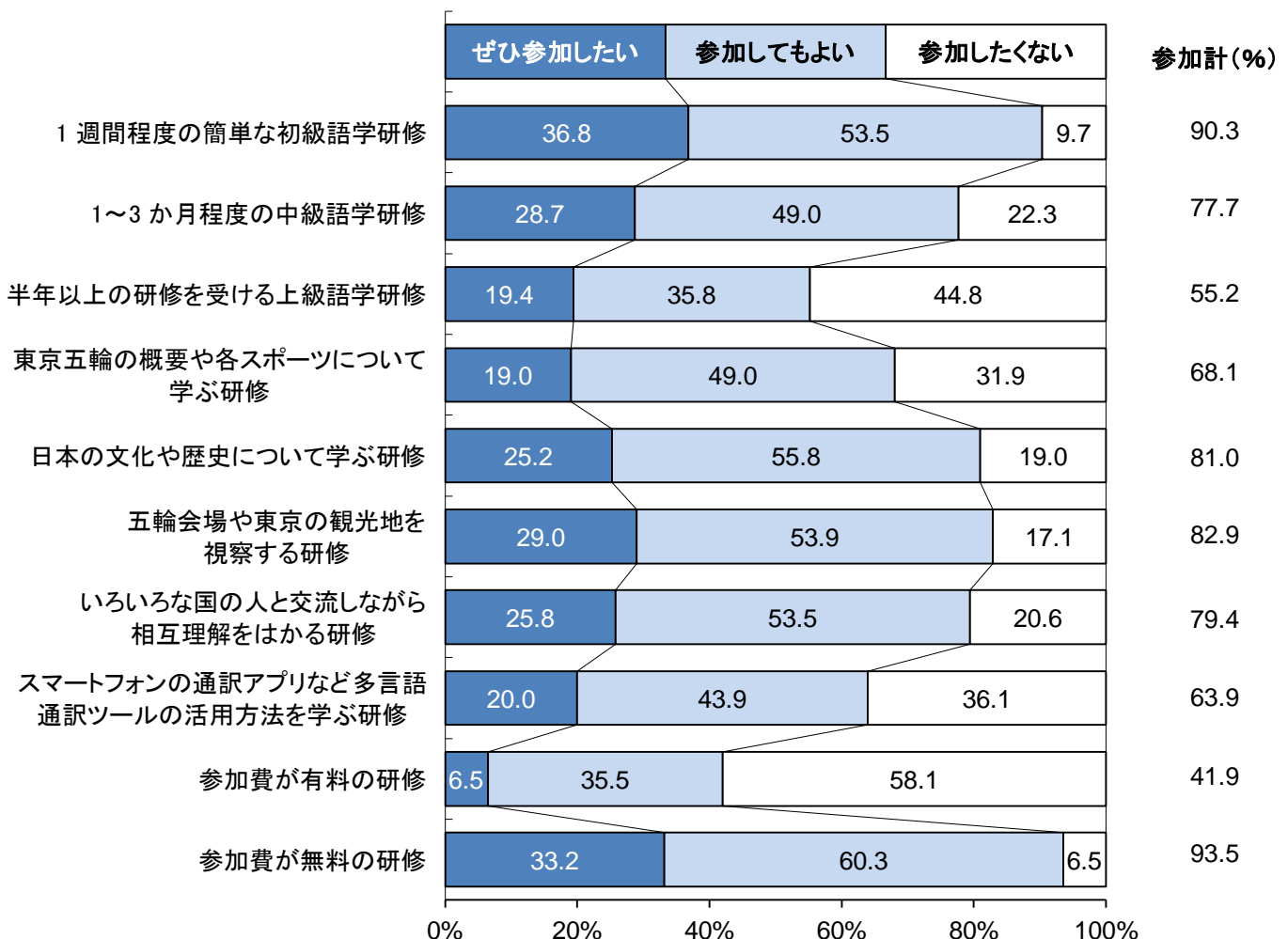
News Release from NORD 2014.6.27

■ 最も人気のある語学ボランティア研修は「1週間程度の簡単な初級語学研修」。

語学ボランティア参加意向者(「参加」と回答)に対し、語学ボランティアとして参加するために研修が必要となる場合どのような研修なら参加したいかを聞いてみると、「1週間程度の簡単な初級語学研修」が最も人気があり、37%が「ぜひ参加したい」と回答している。次いで、「五輪会場や東京の観光地を視察する研修」(29%)や「1～3か月程度の中級語学講座」(29%)、「いろいろな国の人と交流しながら相互理解をはかる研修」(26%)が続いている。また、参加費が有料の研修の場合でも、「ぜひ参加したい」という人は7%いる。【グラフ7】この結果から、語学研修だけでなく、自国の文化理解や異文化コミュニケーションといった研修への参加ニーズがあることがうかがえる。

【グラフ7】語学ボランティア研修への参加意向[語学ボランティア参加意向者:N=310]

問：2020年東京五輪に語学ボランティアとして参加するために、あなた
はどのような研修なら参加してみたいと思いますか。



語学ボランティアへの参加意向

News Release from NORD 2014.6.27

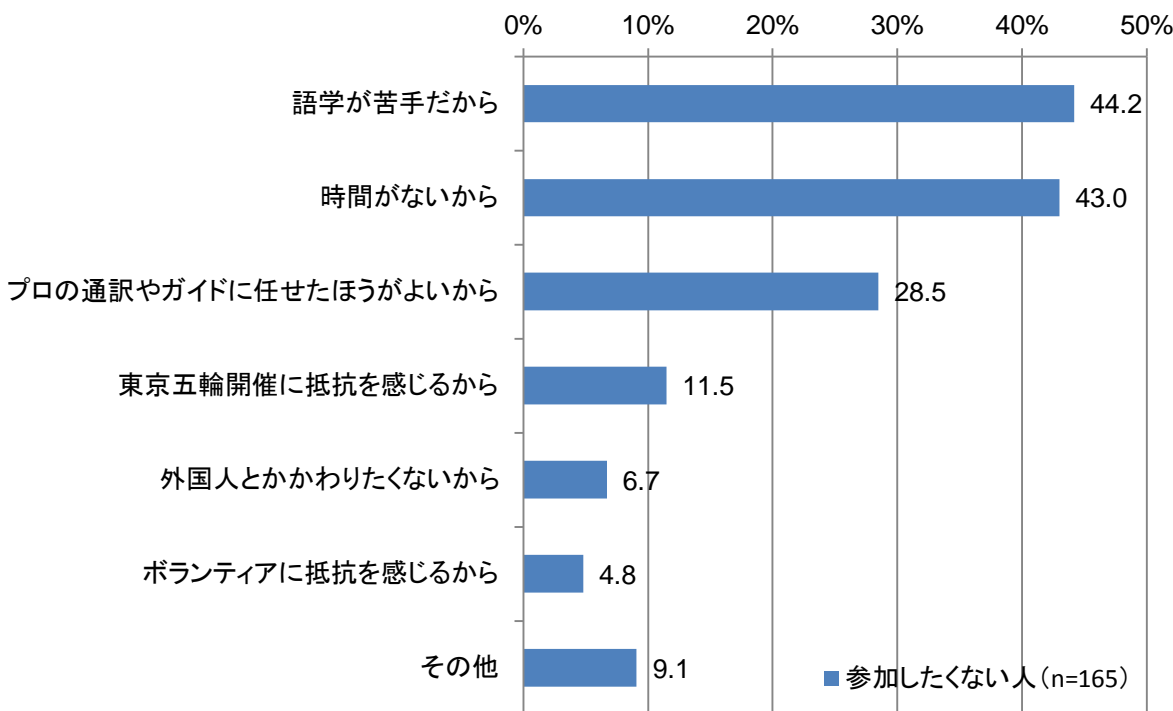
■ 語学ボランティアへ参加したくない主な理由は「語学が苦手」、「時間がない」。

語学ボランティアに「まったく参加したくない」と回答した人にその理由を聞いてみると、「語学が苦手だから」が44%、「時間がないから」が43%と多い。また、「プロの通訳やガイドに任せた方がよいから」(29%)という意見もみられる。【グラフ8】

「その他」の自由回答には、「高齢のため」、「体力に自信がない」という年齢や健康に関する記述がみられる。

【グラフ8】参加したくない理由 [語学ボランティアに参加したくない人:N=165]

問: あなたが語学ボランティアに参加したくない理由は何ですか。



本調査の概要

News Release from NORD 2014.6.27

- 実施時期 2014年6月5日(木)～6月9日(月)
- 調査手法 インターネット調査
- 調査対象 1都3県に在住の20歳以上の男女個人(インターネット利用者)
- 調査地域 1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
- サンプル数 男性 235名 女性 240名 計475名

株式会社ノルド社会環境研究所

“ピープルズシンクタンク”を理念とする独立系民間調査研究機関。社会環境政策、地域計画、マーケティング、CSR、広報・コミュニケーション分野の調査研究及びコンサルティングを行なっている。